

1 検討対象

いわき駅周辺の公共施設(パブリックスペース)は、“交通結節”など、施設本来の機能に加え、日常・非日常を問わず賑わいや情報発信の拠点として活用することを目的として整備されました。

施設の供用以降、様々なイベントに活用されてきましたが、利用頻度や継続性の面から、現状、賑わい拠点として十分な利活用が図られていないとの声も一定程度聞かれます。

これら、いわき駅周辺のパブリックスペースの更なる活用による賑わいづくりは、中心市街地活性化の要素であり、誰もが利用しやすい機能と環境を維持しつつ、賑わいが生まれる活用が求められます。

このため、本検討会では、①南口駅前広場、南北自由通路、北口交通広場及び、②新たに整備される再開発事業区域内広場を対象として、官民が適切な役割分担のもとに緊密に連携してパブリックスペースの可能性を最大限に引き出し、効果を市街地に波及させることを目標として検討を行いました。

いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業地内
公開空地



いわき駅南口前広場・北口交通広場等



2 市街地の課題

いわき駅周辺のパブリックスペースは、まちの動線の要衝にあり、市街地を歩き交う人々が交差する結節点です。パブリックスペースが魅力あるものになれば、人々の目的地となり、多くの人を呼び込むことができます。

一方で、パブリックスペースに人が集まったとしても、市街地自体に魅力や目的がなければ、素通りされてしまい、市街地全体としての回遊や賑わいが生まれにくいこととなります。

このため、本検討会では、パブリックスペースの有効活用による効果が市街地にとっても、有効なものでなければならぬと考え、検討のアプローチとして、現在の市街地が抱える課題の抽出を行いました。

市 街 地 の 課 題	i 昼間人口の少なさ	通勤・通学以外の人々の出入りが少ない
	ii 回遊性の弱さ	あらかじめ行く場所が固定されている
	iii 滞在する要素の弱さ	若者等が立ち寄るような娯楽の不足
	iv チャレンジハードルの高さ	地価の高さ等から新しい挑戦がしづらい
	v 観光資源の弱さ	駅利用者に対し市の魅力の訴求力が弱い

3 パブリックスペースの役割

市街地の課題解消に向けて、パブリックスペースが果たすべき役割や期待される機能を6つの目標として整理しました。

i

市街地のシンボル
『いつも何かやっている』



目標

いわきの玄関口だからこそ
にぎわいを創りやすい環境へ

いわきの玄関口にふさわしい市街地環境を形成するためには、賑わいは最も重要な要素のひとつです。

多くの人を収容できるパブリックスペースでは、大小さまざまなイベント等が常時開催されている環境が求められます。

ii

まちなか回遊の発終点
『人が流れる、人が集まる』



目標

駅前から市街地へ、
市街地から観光地への移動を
もっと便利に、もっと楽しく

より便利にまちなかを回遊するためには、鉄道、バス、自動車等の既存交通と連携した、新たな交通の導入が望まれます。

交通結節機能を有するパブリックスペースには、来訪者の移動ニーズに応えた新たな機能の拡充が求められます。

iii

たまり空間
『ここに居たい』



目標

居心地の良い空間の整備で
通り過ぎるだけの駅前を卒業

交通結節点である駅周辺は、通勤・通学での利用が多く、人が行き交う通過点となっているのが現状です。

パブリックスペースには、これまでの通行機能に加えて、居場所となる良好な“たまり空間”の形成が求められます。

iv

経済活動の場
『モノ、コトの提供』



目標

店舗にはできない
『モノ』と『コト』の提供

人がまちを訪れる目的の一つに、魅力的な経済活動が展開されていることが挙げられます。

これまでは、イベント時を除き営利利用が制限されてきたパブリックスペースですが、今後は、魅力と賑わいの向上に資するモノ、コトの提供の場として活用されることが求められます。

v

情報の集積・発信拠点
『情報を届ける』



目標

ほしい情報をほしい時に
簡単に手に入れられる環境を

誰もが便利で快適にまちで過ごすためには、様々な目的に応じた適時、適切な情報を提供する必要があります。

特に、人が集うパブリックスペースには、多様な情報を集積し、利用者は、その情報を簡単に取得できる環境を整備しておくことが求められます。

vi

防災拠点
『災害時にも頼りになる』



目標

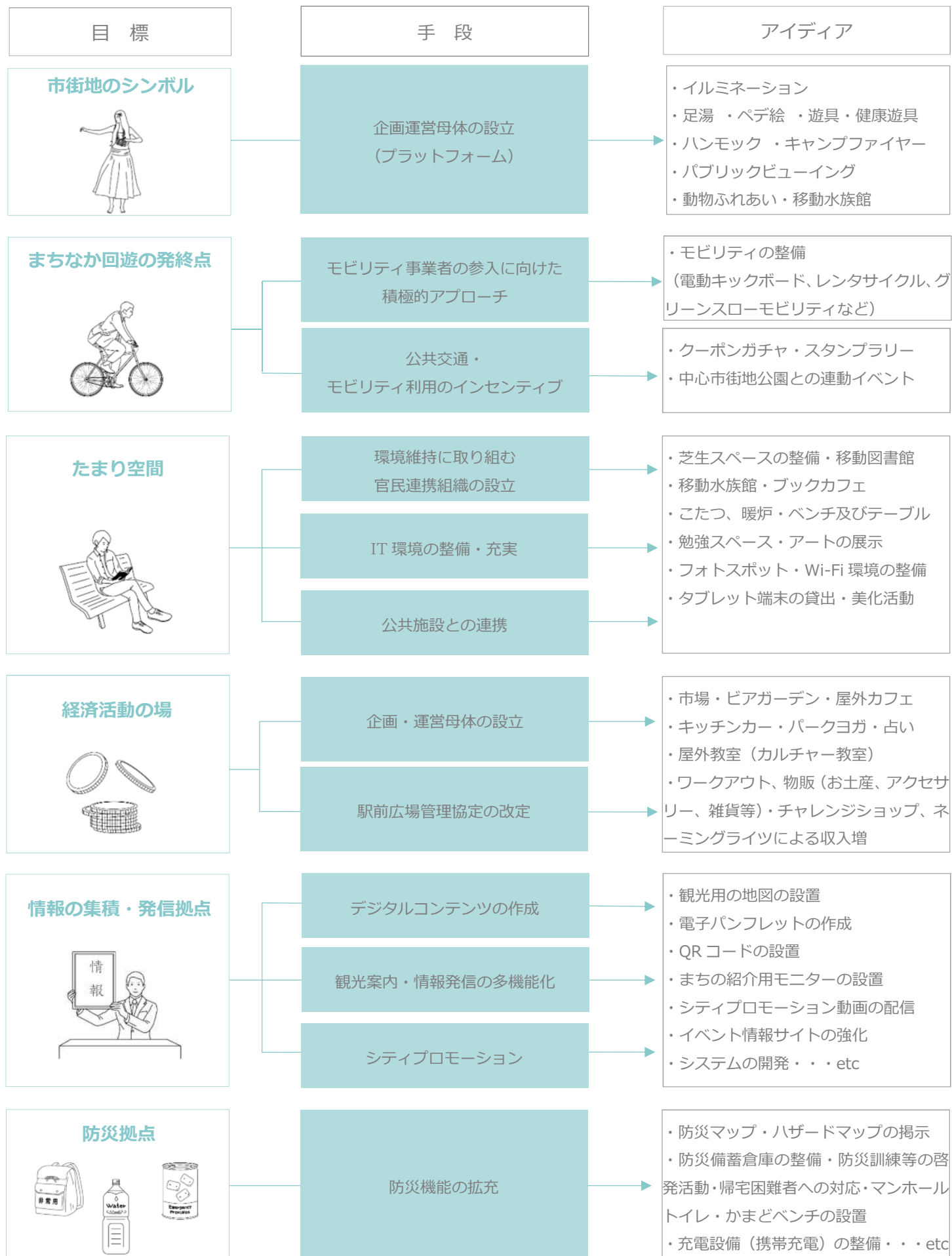
人が集まる場所だからこそ
いざというときに頼れる場所に

不特定多数の人が訪れる駅周辺では、居住する地域や学校、職場などの普段過ごす場所とは異なる防災対策が必要です。

パブリックスペースは、市街地における空地として災害時に利用されることとなるため、災害時に対応可能な機能を整備しておくことが求められます。

4 施策提案

6つの目標を達成するための手段となる施策を提案します。



概要版

Public space

いわき駅周辺パブリックスペース活用検討会

報告書

令和4年3月

この検討成果は、市の政策決定や現行の制度、さらには予算の裏付け等がなされているものではなく、若手職員の発想により、パブリックスペースの活用方策を提案したものです。